

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 21-015

PDCA	事務事業名	予防接種事業	部課等名	健康子ども部 保健センター 健康担当	担当	木村		
					内線等	84-0646		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち						
		節：第3節 健康増進と医療体制の充実						
		基本施策：1. 健康づくり						
		単位施策：(3) 疾病予防・感染症に対する取り組み						
	根拠法令等	個別施策：②感染症予防・対策の推進						
対象・目的	予防接種法、予防接種法施行令、予防接種法施行規則、予防接種実施規則等							
目的を達成するための手段・活動内容	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するため、予防接種を行い、公衆衛生の向上を図る。							
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		29年度	30年度	元年度	単位	
		①MR2種混合予防接種者数		1,968	1,995	1863	人	
		②DT2種混合予防接種者数		1,007	957	906	人	
		③						
		事業費		307,641	335,334	314,684	千円	
		人件費		7,931	8,120	6,707	千円	
		総事業費		315,572	343,454	321,391	千円	
		活動単位当たりのコスト		29年度	30年度	元年度	単位	
		①MR2種混合予防接種1人あたりのコスト		11,487	10,819	10,903	円	
	②DT2種混合予防接種1人あたりのコスト		5,066	3,738	3,838	円		
	③							
	成果	成果指標		29年度	30年度	元年度	単位	
		①MR2種混合予防接種接種率 (1期及び2期の接種率)	実績値	96.6	102.5	99.7	%	
			目標値	98.0	98.0	98.0		
		②DT2種混合予防接種接種率 (各年度において小学校6年生であった者の接種率)	実績値	87.6	85.1	82.5	%	
目標値			89.0	89.0	89.0			
③		実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	法定事務	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	C						
		MR2種混合予防接種の接種率については、厚生労働省が目標としている95%を達成することができた。毎月の未接種者への個別通知や、保育園、幼稚園を通じての勧奨通知の成果であると同時に、麻しんの流行による市民の予防意識の向上により増加したといえる。DT2種混合予防接種の接種率については、前年度より低下した。直近2年間の接種率が減少傾向にあるため、より効果的な接種勧奨を行うことが課題である。						
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
			現在行っている接種勧奨のうち最も効果のある個別勧奨通知など、ターゲットを絞った接種勧奨を継続していく。さらに文面をより予防意識を向上させるものに変更する、学校を通じた勧奨を行うなど、工夫していく。					
		令和2年度の目標	成果指標		目標値		単位	
			①MR2種混合予防接種接種率 (1期及び2期の接種率)		98.0		%	
②DT2種混合予防接種接種率 (各年度において小学校6年生であった者の接種率)			90.0		%			